

脛骨近位骨端線の有限要素法による応力解析

2013年から2024年までに膝痛のために外来で単純CT検査を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「脛骨近位骨端線の有限要素法による応力解析」という研究を行います。この研究は、2013年1月1日より2024年12月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院整形外科にて、膝痛のために外来を受けた患者さんの単純レントゲン検査を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：脛骨近位骨端線の有限要素法による応力解析

研究期間：2013年1月1日～2024年12月31日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 整形外科 渡部 寛

(2) 研究の意義、目的について

脛骨近位骨端線損傷は成長期が終了するまでのあいだ、スポーツ時の動作などが原因で生じる外傷疾患である。骨端線が骨化するまで、成長期の終わるまではスポーツや転倒などにより生じるリスクがあるが、これまであまり研究されてこなかった。女子もスポーツ参加することが増えており、今後はさらに増加する傾向にあると考えられるため、その病態の解明はより重要な課題となってきます。今回の研究では膝の骨形態と骨端線に生じる力の関連を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2013年1月1日より2024年12月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院整形外科にて、単純CT検査を受けられた患者さんのCTデータを用いて脛骨近位骨端線に生じる応力の解析と検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、身長、体重

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 整形外科 講師 渡部 寛

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-396

電話番号：044-733-5181（代表） 内線：3137

メールアドレス：watanabehiroshi@nms.ac.jp